

令和 3 年度 旭区運営方針

自己評価

大阪市旭区役所

◆ 令和3年度の自己評価結果の総括

1年間の取組成果と今後取り組みたいこと

子育て・教育について、中学卒業までの子どもの安全を見守る体制強化をはじめ、小・中学生の基礎学力や体力の向上に向けた学習機会の提供、キャリア教育や命の教育、防災・減災教育、食育などのプログラムの体系的な実施などに取り組んだ。

福祉・健康について、年齢に応じた健康づくりを推進するとともに、医介連携などについて、区医師会等の関係団体と連携・協力して推進した。また、「旭区地域福祉計画」に基づき地域福祉の向上に向け、区内の福祉関係機関と連携・協力して取り組んだ。

地域コミュニティやまちの魅力について、コロナの影響により、地域活動が十分に展開できない取組については、今後の活動再開に向けて積極的な支援を行った。区民が主体的に実施してきた集客型イベントについては、安全確保の上で、事業内容等を工夫しながら開催することができた。また、愛着心の醸成や居住魅力の向上をめざして、地域資源を活用した取組の実施や新たに旭区YouTube動画を作成し、まちの魅力発信に積極的に取り組んだ。

防災・防犯について、「旭区地域防災計画」に基づき、自助・共助（ご近助）の意識向上と地域ごとの防災体制の見直しに取り組んだ。2年度から支援していた防災計画（冊子）は、全10地域で完成した。また、旭消防署・旭警察署をはじめとする関係機関と連携して、防火・防犯・交通安全に向けた区民意識の啓発に取り組むとともに、犯罪が発生しにくい環境づくりを住民とともに地域ぐるみで推進した。

今後も引き続き、「安心して住み続けられるあたたかいまち旭区」の実現に向けて取組を進めていく。

3

解決すべき課題と今後の改善方向

各取組について、引き続きコロナの影響等を考慮しながら進めていく必要があり、柔軟に対応する必要がある。特に、地域活動の再開について、地域の実情やニーズの把握に努め、積極的に支援を行っていく。

また、さらなる区民サービスの向上と効果的な区政運営をめざし、業務改善も行いながら引き続き取り組んでいく。

経営課題1 子育て・教育環境の一層の充実

【めざすべき将来像】

すべての子育て家庭が安心と喜びを実感しながら、子どもを生み、育てられるようなあたたかいまちをめざして、子育て支援を充実させる。
家庭の経済状況に関わらず、すべての子どもが健やかに成長し、自らの可能性を最大限発揮できる教育環境の実現を学校や地域と連携しめざす。

戦略1-1 子育て支援の充実

- ・子育ての不安感・負担感を軽減するため、必要な支援・相談体制をつくり、参加や交流を促す。
- ・大阪市版ネウボラを推進し、保健師を通じて区役所と親が信頼できる関係性を構築し、子育てに関する様々な相談に対応し社会的資源に繋げていく。
- ・子育て支援機関での「あさひ子育て安心ネットワーク（あさひキッズネット）」を充実させ、地域全体で子育てを支える仕組みづくりを強化することにより、「あさひ子育て包括支援システム」を構築する。

具体的取組

- 1 「重大虐待ゼロ」をめざす取組
- 2 大阪市版ネウボラの展開
- 3 子育て支援・相談機能の充実

戦略1-2 子ども自身の生きる力の育成支援

- ・小学生及び中学生を対象として、基礎学力向上のための事業を実施する。
- ・学習習慣や生活習慣が十分身につけていない子どもに対して、学習支援や自尊心・自己肯定感を育ませる事業を実施する。
- ・次世代を担う子どもが、未来をたくましく生き抜く力を育むためのプログラムを体系的に実施する。

具体的取組

- 1 小学生の学力、体力・運動能力向上支援
- 2 中学生の基礎学力定着支援
- 3 中学生・高校生が学習習慣等を身につけるための支援
- 4 中学生・高校生の自立心を育むための支援
- 5 子どもがたくましく未来を生き抜く力をつける取組

5

経営課題1 子育て・教育環境の一層の充実

戦略1-1 子育て支援の充実

具体的取組1-1-1 「重大虐待ゼロ」をめざす取組

指 標

乳幼児健診時におけるキッズカードの所持率

目標値 50%以上

達成状況 78%



取組実績

- ・要保護児童対策地域協議会実務者会議 12回
- ・あさひキッズネット会議 2回
- ・「あさひ子育て包括支援システム」として、キッズネットICTツールの運用開始（参加団体87）及び包括協定に基づく大阪旭こども病院との連携強化（起立性障害、発達症、要保護児童の見守り）
- ・キッズカードの配布 873枚
- ・命の教育プログラム「リアルケアベビー体験学習」事業 全4中学校

戦略に対する取組の有効性

（ア）有効であり、継続して推進



あさひキッズカード



6

具体的取組1-1-2 大阪市版ネウボラの展開

指 標

「常設健康相談」、「乳幼児健診」に来所する保護者にアンケートを実施し、担当保健師及び地区担当制を知っているという割合

目標値 50%以上

達成状況 58.6%



取組実績

- ・常設健康相談数 576件
- ・授乳相談 12回開催 42組(母と乳児 計84名)
(コロナで中止した赤ちゃん広場の代替として実施)
- ・プレパパママレッスン
11回開催(うち1回は土曜日) 計102人の参加(1日当たり平均9.3人)
- ・専門的家庭訪問事業(区独自) 16名 延べ54回

戦略に対する取組の有効性

(ア) 有効であり、継続して推進

プレパパママレッスンの様子



7

具体的取組1-1-3 子育て支援・相談機能の充実

指 標

講座やイベント（ノーバディーズ・パーフェクト・プログラム、お母さんのほっとタイム、ベビープログラム、ペアレントトレーニング）でのアンケートにおける満足度

目標値 70%以上

達成状況 100%



取組実績

- ・ノーバディーズ・パーフェクト・プログラム 1回
- ・お母さんのほっとタイム 5回
- ・ベビープログラム 3回
- ・ペアレントトレーニング 1回
- ・さくらんぼグループ(3歳児) 11回
- ・プレさくらんぼグループ(2歳児) 7回
- ・幼稚園・保育所(園)情報フェア Web開催
- ・子育て情報誌の発行 4回

戦略に対する取組の有効性

(ア) 有効であり、継続して推進



ベビープログラムの様子

8